

# 情報公開文書

研究の名称	周産期(産褥)心筋症患者における遺伝子解析研究
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院小児科・廣野恵一
研究の概要	<p>【研究対象者】  <b>周産期心筋症患者</b>          本研究における周産期心筋症とは以下のように定義する。          妊娠中または妊娠終了後5ヵ月以内に新たに心不全の症状が出現、もしくは心エコー上左室機能の低下を認めた症例          左室駆出率(Ejection fraction) &lt;45%          他に心不全の原因となるものがない          心疾患の既往がない</p> <p><b>健常コントロール</b>          疾患既往がなく、妊娠高血圧症候群や周産期心筋症を含めた合併症なく正常な経過で妊娠・出産を終え、産後5か月間心不全・心筋症の発症がなかった健常女性</p> <p>【研究の目的・意義】          周産期心筋症を発症した方と、既往歴なく、妊娠中に心不全や心筋症を合併されなかった方との遺伝子の比較を目的として行います。</p> <p>【研究の方法】          血液を通常の採血と同じ方法で約10ml採血します。採血にともなう身体の危険はほとんどありません。その血液から遺伝子(DNA)をとりだして、拡張型心筋症や高血圧症に係る遺伝子の変化の有無を調べます。見つかった遺伝子の変化の意義を把握するために、病歴や心臓超音波検査による心機能の変化の情報を調査いたします。</p> <p>遺伝子解析は国立循環器病研究センター研究所(病態ゲノム医学部)と東京大学循環器内科、富山大学小児科が担当します。また、DNA試料は国立循環器病研究センター研究所で保管し、検査に必要な分量のみ東京大学(研究責任者 循環器内科 小室一成)と富山大学(研究責任者 小児科 廣野恵一)へ、個人情報特定されない試料を送付します。</p> <p>【研究期間】          研究許可日より2026年12月31日まで(予定)</p> <p>【研究結果の公表の方法】          研究結果は、個人が特定されない形で学会及び論文にて発表を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>(試料)DNA 2 µg          (診療情報等)分娩時の年齢、経産回数、身長、体重、妊娠前の合併症(ないことを確認)、家族歴、妊娠中の合併症(ないことを確認)          他機関への提供の有無:有</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	<p>研究責任者:          吉松 淳 国立循環器病研究センター 産婦人科 部長          分担研究者:          神谷千津子 国立循環器病研究センター 産婦人科 医長</p>

	<p>徳留 健 横浜市立大学大学院医学研究科薬理学教室 主任教授  大谷健太郎 国立循環器病研究センター 分子薬理部 室長  池田 智明 三重大学医学部 産科婦人科学教室 教授  南野 直人 国立循環器病研究センター 心不全移植部門 客員研究員  高橋 篤 国立循環器病研究センター 病態ゲノム医学部 部長  小室 一成 東京大学医学部 循環器内科 特任教授  野村征太郎 東京大学医学部 循環器内科 講師  金 蒼美 国立循環器病研究センター 病態ゲノム医学部 派遣研修生  廣野 恵一 富山大学医学部 小児科 講師</p>
研究資料の開示	<p>研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。</p>
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	<p>国立循環器病研究センター 産婦人科 吉松 淳</p>
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7313  FAX 076-434-5029  E-mail khiro@med.u-toyama.ac.jp  担当者所属・氏名 小児科・廣野恵一</p>